授業科目名		障がい	者の生活支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	横川剛毅			
科目ナンバー		П	I-6-1-2				
学年		:	専攻科 開講学期 前期				
授業形態			講義 単位数 2単位				
必修•選択		:	専攻科 実務経験 障がい者支援施設支援員	10年			
テーマ			障がいのある人の生活支援について学ぶ				
	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。						
ディプロマ ポリシー	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。						
		3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。					
	科目群 I キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を再構 教養 築する						
カリキュラム ポリシー	科目群原理	П	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践す				
	科目群	Ш	る人間観を養う 高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専				
	知識·技科目群 実践	IV	門的な知識と技能を身につけることができる科目 学んだ価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積みながら キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	点からQOLを	高める	学的・心理的な基礎的理解を土台として、障がいのある人を生活者として捉え、生活介 支援を学ぶ授業である。 アプアないはなど、	護の視			
授業の概要 授業の 到達目標	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを	・高める: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		護の視 			
授業の	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し	を 高める うっぱい ある人の ある人の しょう 大き しょく 大き おっぱい ままれる かいまい しょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。	護の視 			
授業の 到達目標	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し	を 高める うっぱい ある人の ある人の しょう 大き しょく 大き おっぱい ままれる かいまい しょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 爰、介護のあり方に関する考察を深めることができる。	護の視			
授業の 到達目標 テキスト	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉	高める。 一プ研: ある人の ある人の して、支持	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 爰、介護のあり方に関する考察を深めることができる。	護の視			
授業の 到達目標 テキスト 参考書	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉 なし 授業内で指え	に高める。 ある人ののある人で、支援がは、 大きないでは、大きないできます。	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 爰、介護のあり方に関する考察を深めることができる。	護の視			
授業の 到達目標 テキスト 参考書	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉 なし 授業内でのを	たらから ある して 一大 ほうしゃ しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう はい はい しゅうしゅう しゅう	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 緩、介護のあり方に関する考察を深めることができる。 講座「障がいの理解」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 編著				
授業の 到達目標 テキスト 参考書 ポートフォリオ	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉 なし 授業内であた リアクションで リアクションで	を ある ある ある ある 大 で 大 で で で で で で で で で で で で で で で で	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 爰、介護のあり方に関する考察を深めることができる。 講座「障がいの理解」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 編著				
授業の 到達目標 テキスト 参考書 ポートフォリオ	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉 なし 授業内でのを リアクションで リアクションで りある	たい ある ある して 一 士	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 髪、介護のあり方に関する考察を深めることができる。 講座「障がいの理解」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 編著 学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする を用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
授業の 到達目標 テキスト 参考書 ポートフォリオ	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉 なし 授業内でのを リアクションで リアクションで りある	たい ある ある して 一 士	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 緩、介護のあり方に関する考察を深めることができる。 講座「障がいの理解」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 編著 学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする を用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する の内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深				
授業の 到達目標 テキスト 参考書 ポートフォリオ	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉 なし 授業内でのを リアクションへ リアクションへ ICT(グーグリ	たい ある ある して 一 士	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 爰、介護のあり方に関する考察を深めることができる。 講座「障がいの理解」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 編著 学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする を用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する の内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深 レーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
授業の 到達目標 テキスト 参考書 ポートフォリオ	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介護福祉 なし 授業内でのを リアクションへ リアクションへ リアクションへ にT(グーグ) その他:	高のプ ある ある 、	支援を学ぶ授業である。 究課題を決めてグループワークを実践し、その成果を発表する。 特性を踏まえた医学的・心理的基礎的知識を習得できる。 特性に沿った生活支援を理解できる。 爰、介護のあり方に関する考察を深めることができる。 講座「障がいの理解」中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 編著 学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする を用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する の内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深 レーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
授業の 到達目標 テキスト 参考書 ポートフォリオ	点からQOLを 後半は、グル ①障がいのを ②障がいのを ③研究を通し 新・介 で 担業 内ででの リア アクションへ リア アクションへ ICT(グーグ) その他: 区分	高のプ ある ある 、	支援を学ぶ授業である。				

授業概要と課題						
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・障がいの概念と定義				
	授業外学習	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第2回	テーマ 内容	支援の基本理念				
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第3回	テーマ 内容	視覚障がいのある人の理解と生活支援				
310E	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第4回	テーマ 内容	聴覚障がいのある人の理解と生活支援				
A)TE	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第5回	テーマ 内容	言語障がいのある人 及び、障がいが重複している人の理解と生活支援				
第 7回	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第6回	テーマ 内容	肢体不自由のある人の理解と生活支援				
为V回	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第7回	テーマ 内容	知的障がいのある人の理解と生活支援				
#/D	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第8回	テーマ 内容	発達障がいのある人の理解と生活支援				
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			
第9回	テーマ 内容	精神障がいのある人の理解と生活支援				
	授業外指示	テキスト及びプリント資料を読み込んで復習する	55分			

第10回	テーマ 内容	学習到達度の確認、発表課題の提示 及び、研究計画の作成		
	授業外指示	各自で研究計画作成を補完する	55分	
第11回	テーマ 内容	研究発表に向けた準備		
	授業外指示	筋委縮性側索硬化症について調べる	55分	
第12回	テーマ 内容	研究発表①		
	授業外指示	自身または他者の研究発表の振り返り	55分	
第13回	テーマ 内容	研究発表②、総括		
	授業外指示	自身または他者の研究発表の振り返り 及び総復習	55分	

課題に対するフィードバックの方法

発表課題について学生によるワークシートにより相互評価を行うとともに、教員による評価を実施し授業内で伝える。